

[沖縄地域の生物多様性の保全に向けた国営沖縄記念公園の活用に関する検討業務]

委託者

(財)海洋博覧会記念公園管理財団

業務の概要

本業務は、国内外の生物多様性の保全に関する動向及び拠点形成事例に関する調査及び沖縄地域における生物多様性の現状と課題及び保全に向けた取り組みに関する調査を行い、国営沖縄記念公園が沖縄本島北部、さらにはアジア太平洋地域における生物多様性保全の取り組みを進めて行くための方針を検討し基本構想を作成するとともに、基本構想実現に向けた行動計画案を作成した。

業務内容

(1) 海洋博公園が擁する生態系および生態系サービスに関する資料整理

有識者や海洋博覧会記念公園管理財団職員へのヒアリング、既存資料等から本部半島及び海洋博公園の生態系、生態系サービスに関する資料整理を行い、行動計画において取り組む課題を抽出した。

(2) 琉球列島を含む沖縄地域における生物資源の持続可能な利用に関する歴史・文化の事例収集

有識者へのヒアリングから沖縄地域の生物多様性と歴史・文化との関わりを題材とした生物資源の持続的な利用の視点で捉えることができる歴史、文化の事例を収集し、行動計画において取り組む課題を抽出した。

(3) 有識者会議運営

過年度までの検討結果および(1)、(2)を踏まえて生物多様性、都市公園等の専門家で構成される有識者会議を設置し、行動計画案への意見を聴取した。会議は4回開催した。なお、第1回の有識者会議では、基本構想のとりまとめを行った。

(4) 行動計画の検討・とりまとめ

上記の評価結果等を踏まえ、当面の取り組み、実施主体を検討し、有識者の意見を反映して行動計画をとりまとめた。